

小塩 力

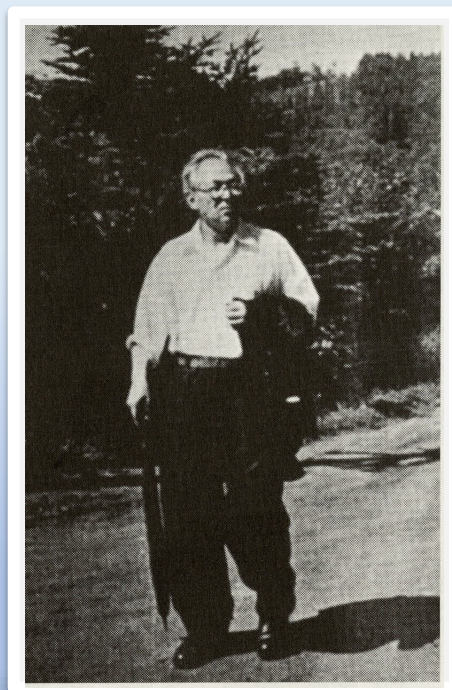
(おしお つとむ)

プロフィール

回 (所属)	第2回生 (理甲)	大正12年 (1923) 卒	
生年月日	明治36年 (1903) 3月16日		
出身地	京都府	出身中学	東京府立第四中学校
大学	東京帝国大学農学部農学科第一部		
卒業後	日本基督教団井草教会		

人物紹介

牧師、聖書学者。
松本高等学校在学中、手塚縫蔵と出会い大きな影響を受ける。
東京神学校卒業後、松江、佐世保で牧師を務め、日本基督教団井草教会を設立した。



藤森 賢而

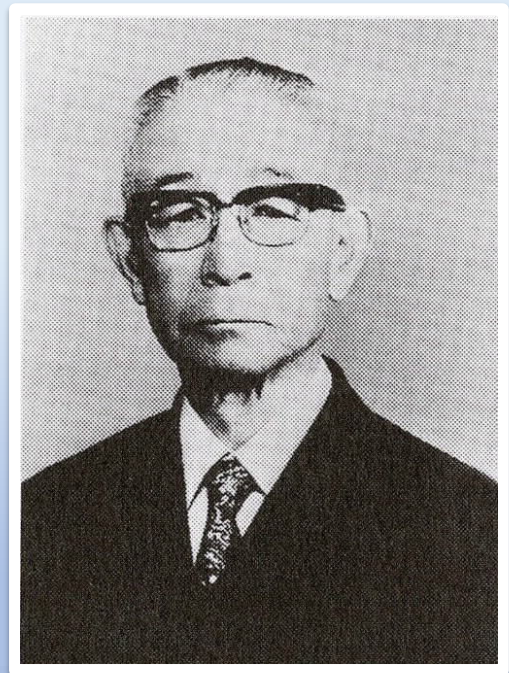
(ふじもり けんじ)

プロフィール

回 (所属)	第3回生 (理乙)	大正13年 (1924) 卒
生年月日	明治35年 (1902) 3月23日	
出身地	長野県	出身中学 松本中学校
大学	京都帝国大学医学部医学科	
卒業後	京都大学、藤森内科医院	

人物紹介

医師。
大学卒業後、新設の循環器内科に入局し、脈波計の研究開発、日本循環器学会の創設に関わった。藤森内科医院開業以後は、診察のかたわら、学校医としても尽力した。



鈴木 良徳

(すずき よしのり)

プロフィール

回 (所属)	第4回生 (文乙)	大正14年 (1925) 卒
生年月日	明治35年 (1902) 1月25日	
出身地	栃木県	出身中学 郁文館中学校
大学	九州帝国大学農学部農業化学科、法文学部	
卒業後	陸上競技部連盟、日本体育協会	

人物紹介

スポーツ指導者。
松本高等学校在学中は競技部のマネージャー。
1932年、陸上競技部連盟の役員となり、日本オリンピック協会常任委員などを歴任した。1978年、オリンピック・オーダー（銅賞）を受賞。



北沢 喜代治

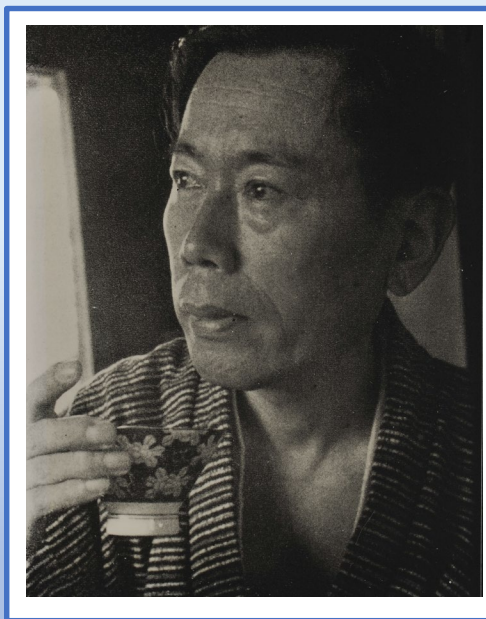
(きたざわ きよじ)

プロフィール

回 (所属)	第6回生 (文甲)	昭和2年 (1927) 卒
生年月日	明治39年 (1906) 10月17日	
出身地	長野県	出身中学 松本中学校
大学	東京帝国大学文学部国文学科	
卒業後	高岡高等学校、蟻ヶ崎高等学校、松本市議会議員	

人物紹介

作家。
松本高等学校在学中、新聞に毎週短編小説が掲載される。
高校教員、松本市会議員を経て、同人誌『屋上』を主宰。長編小説『鵠凍えず』を執筆、単行本として出版し、江藤淳や八木義徳に激賞された。



若月 俊一

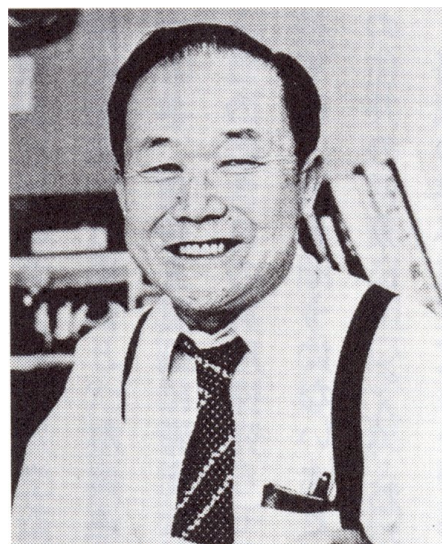
(わかつき としかず)

プロフィール

回 (所属)	第9回生 (理乙)	昭和5年 (1930) 卒	
生年月日	明治43年 (1910) 6月26日		
出身地	東京府	出身中学	東京府立第一中学校
大学	東京帝国大学医学部医学科		
卒業後	佐久病院		

人物紹介

医師。
松本高等学校時代は文芸部に所属し、大学時代はマルクス主義に傾倒する。1945年、佐久病院(現佐久総合病院)に赴任。訪問診療など、地域での医療実践に尽くし、1976年にはマグサイサイ賞を受賞した。



井上 禅定

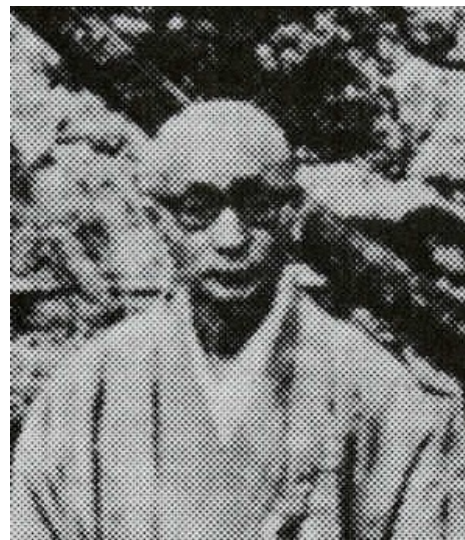
(いのうえ ぜんじょう)

プロフィール

回 (所属)	第11回生 (文甲)	昭和7年 (1932) 卒
生年月日	明治44年 (1911) 1月20日	
出身地	神奈川県	出身中学 湘南中学校
大学	東京帝国大学文学部印度哲学梵文学科	
卒業後	東慶寺	

人物紹介

僧侶。
松本高等学校での3年間は、友人たちと啓発し合い、人間としての蓄積が身に染む時であったという。1941年、「縁切寺」東慶寺の住職となる。学僧として多くの著作を残し、自然保護運動でも活躍した。



河原 武雄

(かわはら たけお)

プロフィール

回 (所属)	第12回生 (文乙)	昭和8年 (1933) 卒	
生年月日	大正2年 (1913) 2月27日		
出身地	長野県	出身中学	長野商業学校
大学			
卒業後	日本放送協会 (NHK)		

人物紹介

アナウンサー。
長野商業高校、松本高等学校を通してバスケットボールに夢中となる。
兄広三(6期)が思想事件に連座し逮捕されたため、進学を断念する。
1939年、NHKに入社し、大相撲の実況を20年間務めた。



久保田 正文

(くぼた まさふみ)

プロフィール

回 (所属)	第14回生 (文甲)	昭和10年 (1935) 卒	
生年月日	大正1年 (1912) 9月28日		
出身地	長野県	出身中学	飯田中学校
大学	東京帝国大学文学部美学美術史学科		
卒業後	旧制北陸中学、日本大学、大正大学		

人物紹介

文芸評論家、小説家。
大卒業後、旧制北陸中学校教員時代に執筆した小説『残夢』が原因で、治安維持法違反容疑で検挙される。
民主主義文学者として小説や評論を発表し続けた。



二村 忠元

(にむら ただもと)

プロフィール

回(所属)	第15回生(理甲イ)	昭和11年(1936)卒	
生年月日	大正5年(1916)11月9日		
出身地	長野県	出身中学	松本第二中学校
大 学	京都帝国大学工学部電気工学科		
卒 業 後	京城帝国大学、東北大学、東北学院大学		

人物紹介

音響工学者。
「音響の二村」と称された音響学の権威。名鉄ホールや仙台市民会館などのホール設計も手がけた。騒音公害についても、新幹線騒音や環境騒音評価などで国際的にも注目を集めた。



降旗 力男

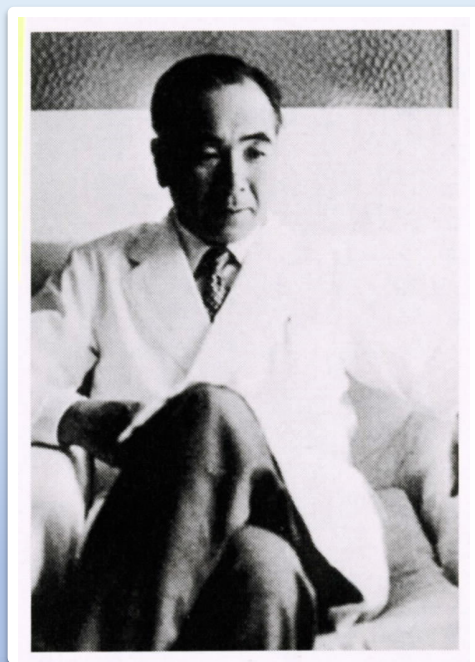
(ふるはた りきお)

プロフィール

回 (所属)	第16回生 (理乙ロ)	昭和12年 (1937) 卒	
生年月日	大正5年 (1916) 11月27日		
出身地	長野県	出身中学	松本中学校
大 学	大阪帝国大学医学部医学科		
卒 業 後	松本医学専門学校、信州大学		

人物紹介

医学者。
第二次世界大戦後、松本
医学専門学校開校とともに
助手となり、信州大学
となった後も、甲状腺外
科の治療と研究に没頭す
る。
第13代信州大学医学部長。



内田 正明

(うちだ まさあき)

プロフィール

回(所属)	第16回生(理乙ロ)	昭和12年(1937)卒
生年月日	大正4年(1915)10月24日	
出身地	長野県	出身中学 松本中学校
大学	新潟医科大学医学部医学科	
卒業後	豊科署警察医、北アルプス南部救助隊医	

人物紹介

医師。
松本高等学校在学時は、同郷・同級の降旗力男と行動をともにした。1955年、日本初の山岳遭難救助隊で、救助隊医として奮闘する。地元では「山医師」と呼ばれ、メスとピッケルの人生を貫いた。



諏訪 彰

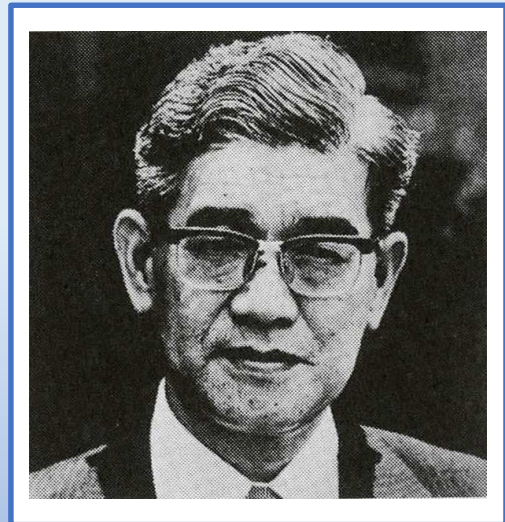
(すわ あきら)

プロフィール

回 (所属)	第21回生 (理甲)	昭和17年 (1943) 卒
生年月日	大正8年 (1919) 11月18日	
出身地	長野県	出身中学 諏訪中学校
大学	東京帝国大学理学部地質学科	
卒業後	中央気象台	

人物紹介

地震学者、火山学者。
中学時代から岩石学に興味を持つ。1945年、中央気象台に採用され、松代大本営跡への地震観測所開設に関わった。また、日本の火山観測体制確立の基本構想を考案し、「諏訪ビジョン」として高く評価された。



武井 尚

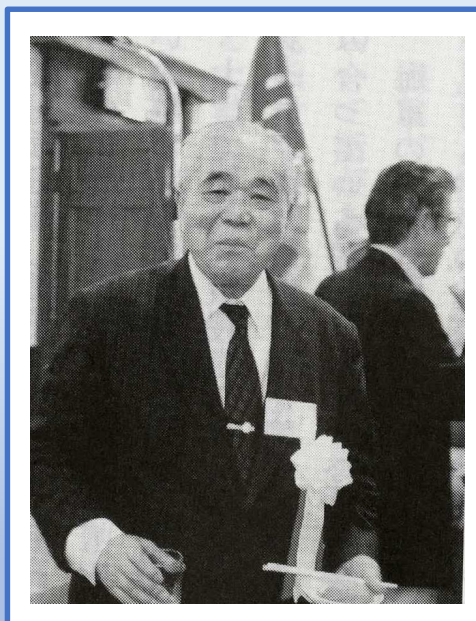
(たけい ひさし)

プロフィール

回(所属)	第22回生(文甲)	昭和17年(1943)卒	
生年月日	大正11年(1922)4月8日		
出身地	山梨県	出身中学	日川中学校
大学	東京帝国大学法学部		
卒業後	日本開発銀行、名古屋港流通センター		

人物紹介

金融マン。
松本高等学校入学時、「猛烈な勧誘につかまり」柔道部に入部する。猛練習に耐え、2年時には、インターハイ東部大会で準決勝まで進出した。海軍少尉として日夜訓練に明け暮れる間に敗戦。戦後は、金融界の道に入った。



宇都宮 新

(うつのみや あらた)

プロフィール

回 (所属)	第25回生 (理甲1)	昭和20年 (1945) 卒
生年月日	大正13年 (1924) 11月17日	
出身地	山口県	出身中学 東京府立第一中学校
大学	東京工業大学建築学科	
卒業後	岐阜工業高等専門学校	

人物紹介

建築学者。
松本高等学校在学中は、勤労働員に明け暮れる。大学進学を前に、「建築には芸術的ロマンがある」と思い、東京工業大学建築学科を志望した。卒業後は、教職の道を選び、旧制高等学校記念館の設計を担当した。



松岡 一夫

(まつおか かずお)

プロフィール

回(所属)	第25回生(理甲1)	昭和20年(1945)卒	
生年月日	大正13年(1924)11月30日		
出身地	長野県	出身中学	松本中学校
大学	東北大学工学部航空科		
卒業後	松本ホテル花月		

人物紹介

実業家。
松本を代表する老舗旅館を引き継ぐ。松本を愛し、松本の文化を後世に残す活動を行った。
旧制高等学校記念館に寄贈した松高事件関係資料は、往時を知る貴重なものである。



白鳥 邦夫

(しらとり くにお)

プロフィール

回(所属)	第27回生(文3)	昭和23年(1948)卒	
生年月日	昭和3年(1928)7月10日		
出身地	長野県	出身中学	長野中学校
大学	東京帝国大学文学部倫理学科		
卒業後	能代高等学校		

人物紹介

高校教員(秋田県)。松本高等学校在籍時に、同人誌『名もなき花』(後の『山脈』)を創刊する。大学卒業後、秋田県の高校教師として定着。同僚、教え子、地域住民と、日々の生活から現代の問題を考えるサークル活動を、全国へと展開した。



馬瀬 良雄

(ませ よしお)

プロフィール

回 (所属)	第30回生 (文2)	昭和24年 (1949) 修学
生年月日	昭和2年 (1927) 3月3日	
出身地	長野県	出身中学 松本中学校
大学	信州大学文理学部国文学科	
卒業後	長野県短期大学、信州大学	

人物紹介

言語学者。
松本高等学校で1年間修学の後、信州大学文理学部に進学。東京都立大学大学院時代に、方言研究を志す。大学教員となったからは、学生を伴い、県内530地点の方言を採取して、県内の方言研究の礎を築いた。



宮地 数千木

(みやじ やちぎ)

プロフィール

回 (所属)	松本高等学校教授		
生年月日	明治21年 (1888)		
出身地	三重県	出身中学	
大学	東京帝国大学		
卒業後	松本高等学校		

人物紹介

植物学者。
1918年、松本高等学校に赴任。スミレの染色体の探求に励み、新種の発見も多数にのぼる、「スミレ学」の権威。
アララギ派の歌人であったが、在職時は作歌活動を封印していた。



蛭川 幸茂

(ひるかわ ゆきしげ)

プロフィール

回 (所属)	松本高等学校教授		
生年月日	明治37年 (1904) 1月20日		
出身地	東京府	出身中学	明倫中学校
大学	東京帝国大学理学部数学科		
卒業後	松本高等学校、新村小学校、愛知学院大学、名古屋大学		

人物紹介

数学教師。

1926年、22歳での赴任以来、誰よりも「松高生ぶり」を発揮し、生徒たちに愛された。

松高廃校の後、新制大学の教員となることを良しとせず、新村小学校の代用教員となった。



ヘルベルト・ツァヘルト

(ヘルベルト ツァヘルト)

プロフィール

回(所属)	松本高等学校教授		
生年月日	明治41年(1908)		
出身地	ベルリン	出身中学	
大学	ベルリン大学、ハンブルク大学		
卒業後	松本高等学校、ベルリン大学、ボン大学		

人物紹介

日本学者。
大学の卒業論文は「続日本紀と宣命」。
1933年、25歳でドイツ語講師として赴任。流暢な日本語をたしなむだけでなく、和漢の古典に通じ、俳句を吟じた。
戦後はベルリン大学、ボン大学で日本学の普及と後進の育成に専心した。

